

# やまぎん企業景況サーベイ

## (2024年1-3月)

### ～景況感は1年ぶりの「悪化超」～

「やまぎん企業景況サーベイ」は、企業の景況感を明らかにすることを目的に、山形県内に本社および事業所を有する企業を対象として四半期ごとに実施している調査です。

#### 【調査要領】

対象期間 2024年1-3月  
調査期間 2024年2月1日～22日  
有効回答数 486社/600社（回答率 81.0%）

#### 【調査方法】

山形銀行本支店を通じアンケート用紙を配布・回収、もしくはオンライン回答による。

#### 【集計・分析方法】

県内企業の業況、生産・販売等の状況は、「BSI (Business Survey Index)」を用いて表します。

#### ①業況判断 BSI <前年同期比>

前年(2023年1-3月)に比べ業況が「良化する」企業の割合 - 「悪化する」企業の割合

#### ②売上高 BSI <前年同期比>

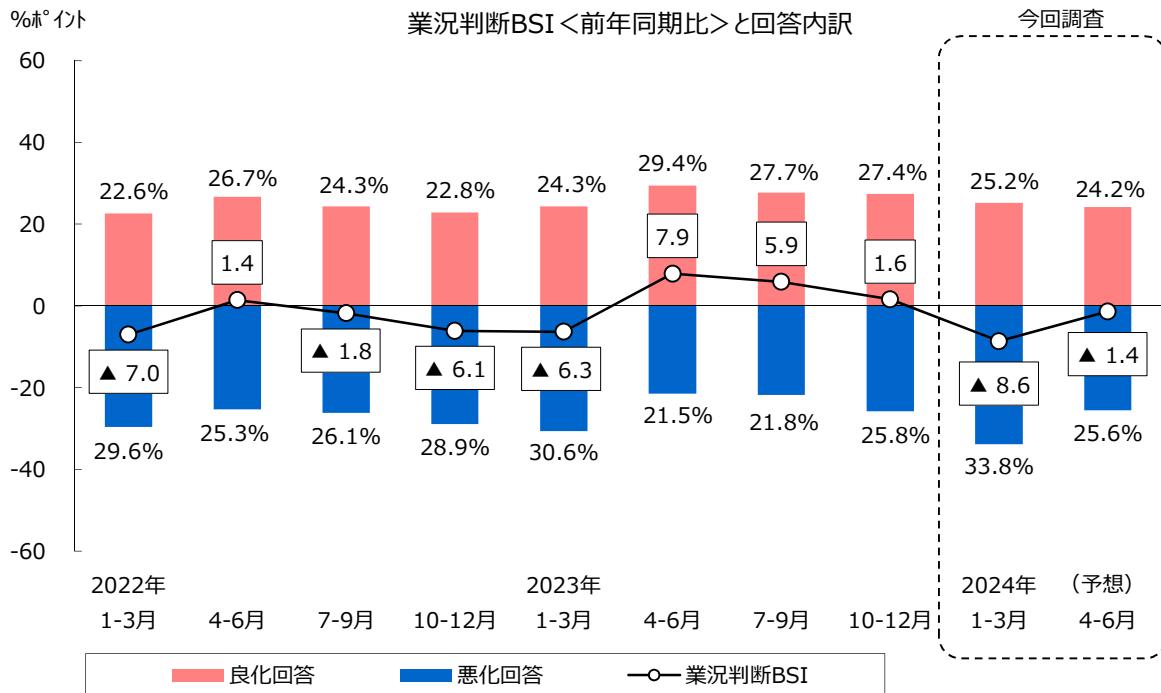
前年(2023年1-3月)に比べ売上高が「増加する」企業の割合 - 「減少する」企業の割合

#### ③雇用判断 BSI

従業員数の水準について「多い」とする企業の割合 - 「少ない」とする企業の割合

# 1. 業況判断 B S I <前年同期比>

～製造業、非製造業ともに大幅に低下～



## (1) 全産業ベースの動向

業況判断 BSI <前年同期比> <前年同期 (2023年 1-3月) に比べ業況が「良化する」企業の割合-「悪化する」企業の割合>は、前回比-10.2ポイントの▲8.6となった。3期連続の低下で、1年(4期)ぶりに「悪化超」のマイナス水準に転じているだけでなく、直近ではコロナ禍の影響が大きかった2021年 1-3月(▲35.0)に次ぐ低水準となっている。

回答内訳をみると、悪化回答の割合が33.8%と高い割合になっている。能登半島地震の影響については限定的であったものの、1ドル=150円前後の円安水準が継続していることによる原材料価格の高止まりや、中国経済の減速等をうけた外需の不振に加え、暖冬による季節需要の減少も県内企業の業況を大きく下押ししたと考えられる。

2024年 4-6月の予想は、今回調査比+7.2ポイントの▲1.4で、実現すれば1年ぶりの上昇となる見込みである。

## (2) 業種別の動向

以下では、業種別の BSI 水準に応じて下表のような天気マークを用いて表現した。

BSIの値	マーク
50以上	晴れ
15以上50未満	曇り一部晴れ
▲15超15未満	曇り
▲50超▲15以下	曇り一部雨
▲50以下	雨

業種	時期	業況判断BSI<前年同期比>					(予想)			
		2022年 10-12月	2023年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	2024年 1-3月	前回比	4-6月	今回比
全産業		▲6.1	▲6.3	7.9	5.9	1.6	▲8.6	▼10.2	▲1.4	▲7.2

### ① 製造業

業況判断 BSI<前年同期比>を業種別にみると、製造業は前环比-9.9ポイントの▲11.3となった。これは、前回調査時点における改善予想(0.9)を覆す大幅な下方修正で、直近では2021年1-3月(▲45.7)以来、3年ぶりの低水準となっている。内訳をみると、9業種のうち、前环比低下が5業種、上昇が3業種、横ばいが1業種と方向感にはややバラツキがみられた。

**食料品・飲料** 円安等の影響もあって原材料価格の上昇が続いているほか、価格改定による販売数量の減少もみられ、BSIは3期連続で低下。

**繊維・衣服** 暖冬による在庫増を懸念する声もきかれたが、全体としては経済正常化の動きが続き、7期連続の「良化超」となった。

**木材・家具** 大口案件の減少等をうけて再び低

下に転じ、BSIは全業種中最も低水準となった。

**窯業・土石** コンクリート関連では公共工事の減少などから足もと受注減となる企業もみられ、前环比では2期連続で低下している。

**鉄鋼・金属** 中国経済減速の影響に加え、原材料の値上がりもあり、BSIは4期連続で「悪化超」となっているが、前环比では5期ぶりに上昇。



























































































**電気機械** 中国経済減速の影響による受注減が続き、前环比横ばいで8期連続で「悪化超」となるなど、不振が長期化している。

**一般機械** BSIは前环比では3期ぶりに上昇したが、半導体関連設備等の受注減が続いており、5期連続で「悪化超」となっている。

**輸送機械** 自動車メーカーの品質問題による生産停止等の影響により、BSIは大幅に低下し、実に約3年ぶりに「悪化超」に転じている。

業種別の業況判断BSI<前年同期比>

(予想)

業種	時期	2022年					2023年		2024年	
		10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	前环比	4-6月	今回比
製造業		 ▲ 1.8	 ▲ 6.3	 3.1	 3.1	 ▲ 1.4	 ▲ 11.3	 -9.9	 4.9	 +16.2
食料品・飲料		 ▲ 15.4	 0.0	 17.1	 16.7	 10.0	 0.0	 -10.0	 11.4	 +11.4
繊維・衣服		 16.7	 33.3	 50.0	 64.3	 33.4	 46.7	 +13.3	 35.8	 -10.9
木材・家具		 ▲ 20.0	 ▲ 28.6	 ▲ 14.3	 ▲ 20.0	 53.4	 ▲ 46.1	 -99.5	 14.3	 +60.4
窯業・土石		 ▲ 20.0	 10.0	 0.0	 44.4	 30.0	 0.0	 -30.0	 ▲ 22.2	 -22.2
鉄鋼・金属		 47.6	 18.2	 ▲ 9.1	 ▲ 20.0	 ▲ 42.9	 ▲ 26.1	 +16.8	 ▲ 8.7	 +17.4
電気機械		 ▲ 10.3	 ▲ 8.0	 ▲ 11.6	 ▲ 7.4	 ▲ 20.7	 ▲ 20.7	 ±0.0	 ▲ 31.1	 -10.4
一般機械		 2.3	 ▲ 23.7	 ▲ 17.7	 ▲ 28.6	 ▲ 38.1	 ▲ 25.7	 +12.4	 17.2	 +42.9
輸送機械		 7.2	 0.0	 28.6	 27.3	 18.2	 ▲ 25.0	 -43.2	 16.7	 +41.7
その他製造業		 ▲ 13.8	 ▲ 21.2	 9.4	 9.4	 17.7	 0.0	 -17.7	 12.5	 +12.5

**その他製造業** プラスチック製品などで自動車メーカーの生産減の影響を受けた企業もみられたことから、BSIは4期ぶりに低下した。

2024年4-6月の予想については、今回調査比+16.2ポイントの4.9と1年ぶりに上昇する見込みだが、期待含みの部分も多いと考えられる。

**② 非製造業**

**非製造業の業況判断** BSIは、前回比-10.7ポイントの▲6.8で、3期連続で低下し、1年ぶりに「悪化超」に転じている。ただし、前回調査時点における予想(▲7.4)からは若干の上方修正となっている。内訳をみると、6業種のうち低下が4業種、上昇が2業種となった。

**建設業・不動産業** 住宅建設や公共工事が減少するなかで、暖冬による除雪作業の減少もあり、BSIは大幅に低下し4期ぶりの「悪化超」に。

**運輸業** 旅客輸送の回復が続く一方で、貨物輸送では燃料費の高騰による下押しが強まり、BSIは4期ぶりに低下した。

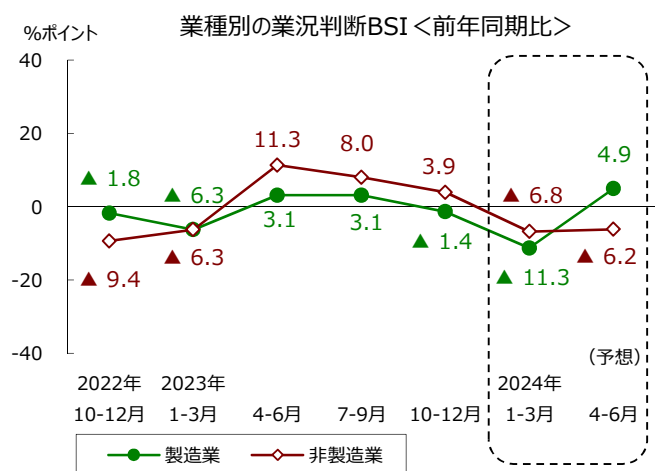
**卸売業** 農水産品については調達難や値下がりによる悪影響がみられるほか、暖冬による季節商品の販売減もあり、BSIは4期連続で低下。

**小売業** 自動車メーカーの品質問題で新車販売が低迷しているほか、暖冬による季節商品の販売減もあり、BSIは2期ぶりに低下。

**旅館・ホテル、飲食業** 冬季におけるインバウンドの増加が顕著となったことなどで、BSIは2期ぶりに上昇し8期連続の「良化超」に。

**サービス業・その他** 企業ごとに価格転嫁の状況に差があり、BSIはほぼ横ばいとなった。

2024年4-6月の予想については、今回調査比+0.6ポイントの▲6.2と小幅な上昇が見込まれている。



業種別の業況判断BSI <前年同期比>

(予想)

業種	2023年					2024年		前回比	
	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	今回比	
非製造業	▲ 9.4	▲ 6.3	11.3	8.0	3.9	▲ 6.8	-10.7	▲ 6.2	+0.6
建設業・不動産業	▲ 27.5	▲ 22.5	8.8	10.1	2.3	▲ 22.2	-24.5	▲ 10.0	+12.2
運輸業	23.6	13.3	28.6	35.3	35.3	0.0	-35.3	35.3	+35.3
卸売業	▲ 14.1	7.2	7.0	1.5	▲ 4.5	▲ 12.5	-8.0	▲ 19.0	-6.5
小売業	▲ 9.3	▲ 9.8	18.6	▲ 2.3	10.4	3.7	-6.7	▲ 1.9	-5.6
旅館・ホテル、飲食業	46.7	40.0	58.8	50.0	25.0	57.2	+32.2	35.7	-21.5
サービス業・その他	2.1	▲ 12.5	▲ 6.6	2.1	▲ 6.1	▲ 6.0	+0.1	▲ 14.3	-8.3

### (3) 地区別の動向

業況判断BSI<前年同期比>を地区別にみると、庄内地区が1.1、山形地区が▲4.7、置賜地区が▲13.2、北部地区が▲13.6、西部地区が▲19.0の順になり、前回比では全地区が低下した。また「悪化超」は前回調査の2地区から4地区に増加した。

地区別の内訳

地区	市町村
山形地区	山形市、上山市
置賜地区	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
西部地区	寒河江市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町
北部地区	村山市、天童市、東根市、尾花沢市、大石田町、新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
庄内地区	鶴岡市、酒田市、庄内町、三川町、遊佐町

#### ① 山形地区

前回比-5.3ポイントの▲4.7で、2期連続の低下。非製造業は小幅な上昇となったものの、製造業は食料品・飲料やその他製造業(印刷な

ど)を中心に大きく低下した。

#### ② 置賜地区

前回比-22.1ポイントの▲13.2で、大幅に低下し1年ぶりに「悪化超」に転じた。電気機械を中心に製造業の低下が続くなか、非製造業も建設業・不動産業の低下が顕著となった。

#### ③ 西部地区

前回比-17.3ポイントの▲19.0で、2期連続で低下し、全地区中最も低水準となった。製造業では食料品・飲料、非製造業では小売業の低下が目立った。

#### ④ 北部地区














































前回比-2.2ポイントの▲13.6となり、3期連続で低下。特に製造業は、前回比では小幅な低下にとどまったものの、電気機械の不振からBSIは全地区中最も低い水準となっている。

#### ⑤ 庄内地区

前回比-9.6ポイントの1.1で、全地区中唯一「良化超」を維持。非製造業は建設業・不動産業を中心に大きく低下したが、製造業は食料品・飲料を中心に小幅ながら上昇した。

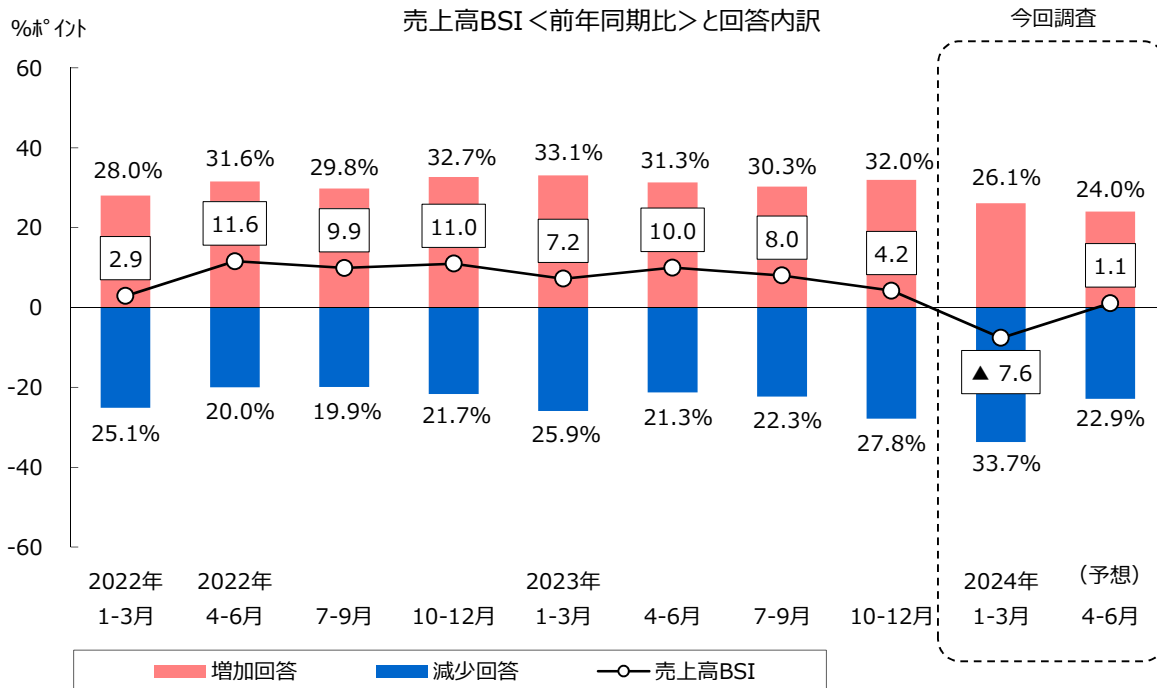
地区別の業況判断BSI<前年同期比>

(予想)

地区	時期	2022年					2024年		(予想)	
		10-12月	2023年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	前回比	4-6月	今回比
山形地区										
	▲ 8.9	▲ 6.8	3.4	8.3	0.6	▲ 4.7	-5.3	▲ 10.2	-5.5	
	製造業	▲ 12.3	▲ 15.4	▲ 2.3	0.0	5.3	▲ 12.2	-17.5	▲ 14.6	-2.4
非製造業	▲ 7.3	▲ 2.8	6.0	12.3	▲ 1.8	▲ 1.0	+0.8	▲ 8.1	-7.1	
置賜地区										
	▲ 3.9	▲ 3.3	17.2	8.7	8.9	▲ 13.2	-22.1	3.4	+16.6	
	製造業	3.7	13.4	11.1	6.3	3.8	▲ 8.9	-12.7	2.2	+11.1
非製造業	▲ 12.7	▲ 19.1	23.2	11.4	14.6	▲ 17.4	-32.0	4.4	+21.8	
西部地区										
	▲ 14.5	5.0	▲ 2.0	10.2	▲ 1.7	▲ 19.0	-17.3	▲ 3.6	+15.4	
	製造業	▲ 9.6	12.1	0.0	14.8	0.0	▲ 20.6	-20.6	6.2	+26.8
非製造業	▲ 20.9	▲ 3.7	▲ 4.4	4.0	▲ 3.7	▲ 16.7	-13.0	▲ 16.7	±0.0	
北部地区										
	▲ 1.9	▲ 17.6	7.4	▲ 2.3	▲ 11.4	▲ 13.6	-2.2	▲ 4.2	+9.4	
	製造業	0.0	▲ 34.0	▲ 15.5	▲ 20.0	▲ 23.9	▲ 25.0	-1.1	▲ 4.5	+20.5
非製造業	▲ 3.7	▲ 2.0	28.0	13.1	2.4	▲ 3.8	-6.2	▲ 4.0	-0.2	
庄内地区										
	▲ 3.5	▲ 2.5	10.1	3.7	10.7	1.1	-9.6	12.1	+11.0	
	製造業	10.4	7.7	29.6	23.1	10.0	15.1	+5.1	48.5	+33.4
非製造業	▲ 10.7	▲ 7.6	0.0	▲ 5.4	11.1	▲ 6.9	-18.0	▲ 8.6	-1.7	

## 2. 売上高BSI <前年同期比>

～製造業、非製造業ともに3年ぶりの「減少超」に～



### (1) 全産業ベースの動向

売上高 BSI <前年同期比>は、前回調査に比べ-11.8ポイントの▲7.6 となり、3期連続で低下している。「減少超」のマイナス水準となったのは2021年1-3月以来、3年ぶりである。また、業況判断 BSI と売上高の BSI のギャップ(業況判断 BSI-売上高 BSI)は▲1.0 で、コロナ・ショックの影響が大きかった2020年4-6月以来の小ささとなった。足元においては、売上減がそのまま業況の悪化につながっている企業が多くなっていると考えられる。

こうしたなか、2024年4-6月の予想については、今回調査比+8.7ポイントの1.1で、業況判断 BSI と同様に上昇見込みとなっている。

### (2) 業種別の動向

業種別に売上高 BSI をみると、製造業は前回比-5.7ポイントの▲5.3、非製造業は同一-16.3ポイントの▲9.3となった。

#### ① 製造業

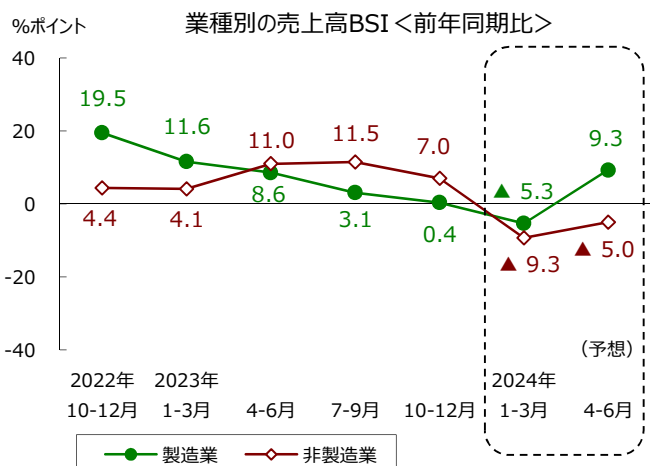
前回比では9業種中5業種が低下、4業種が上昇と比較的ばらついているが、木材・家具、

窯業・土石、輸送機械が今回調査で「減少超」の水準に転じており、「増加超」を維持したのは食料品・飲料と繊維・衣服のみとなった。

#### ② 非製造業

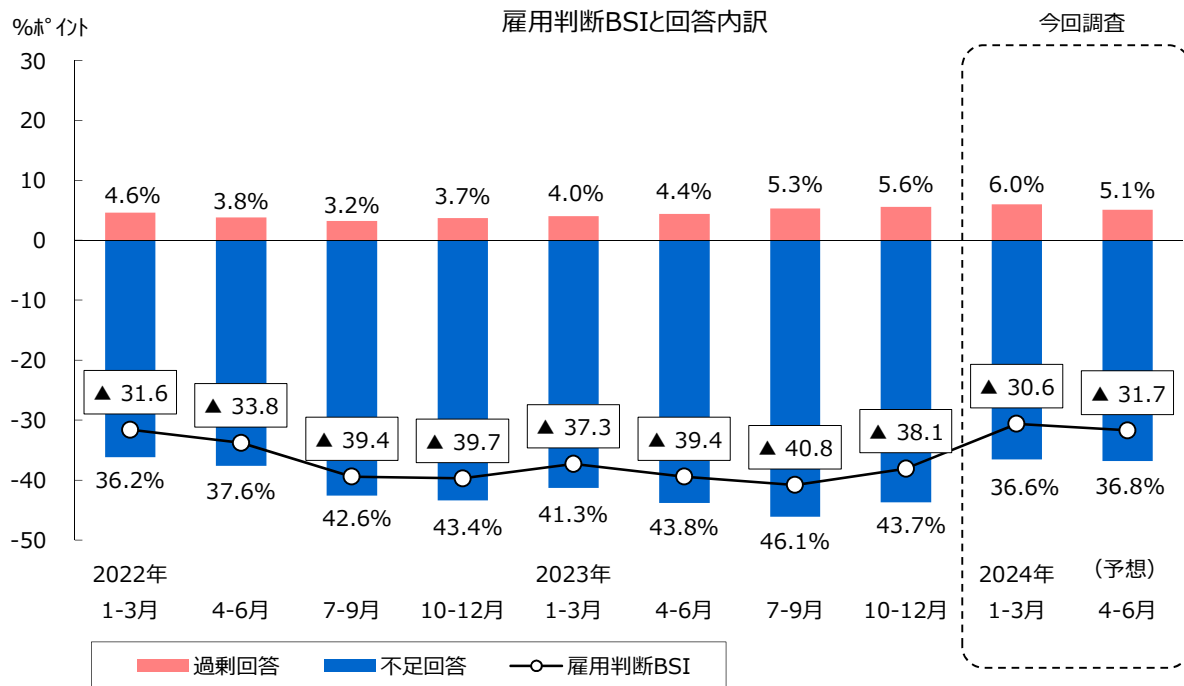
前回比では6業種のうち旅館・ホテル、飲食業を除く5業種が低下。建設業・不動産業、卸売業、小売業が今回調査で「減少超」に転じた。

2024年4-6月の予想は、製造業が今回調査比+14.6ポイントの9.3、非製造業は同+4.3ポイントの▲5.0となる見込み。



### 3. 雇用判断BSI

～業況悪化をうけて、製造業、非製造業ともに人手不足感が緩和～



#### (1) 全産業ベースの動向

従業員数の水準(パート・アルバイト等を含む)については、「多い」とする企業の割合が6.0%、「適正」が57.4%、「少ない」が36.6%で、雇用判断BSIは前回は+7.5ポイントの▲30.6となった。依然大幅な「不足超」の水準にあるが、2期連続で上昇し、2021年10-12月(▲28.5)以来の高水準となっている。

こうしたなか、2024年4-6月の予想は、今回調査比-1.1ポイントの▲31.7で、近年においては比較的高い水準が続く見込み。

#### (2) 業種別の動向

業種別にみると、製造業は前回は+6.2ポイントの▲13.6となった。これは、2021年4-6月(▲3.7)以来の高水準で、操業度の低下から人手不足感の緩和が進んでいる。また、非製造業についても同+8.9ポイントの▲43.2となり、4期ぶりに上昇に転じた。

##### ① 製造業

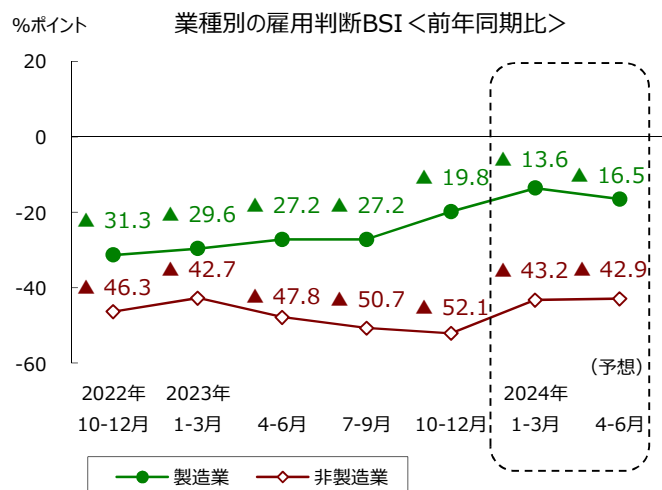
前回は9業種のうち7業種が上昇。BSIは依然としてほとんどが「不足超」の水準にある

が、業況不振が長期化している電気機械のみ、2期連続で「過剰超」となっている。

##### ② 非製造業

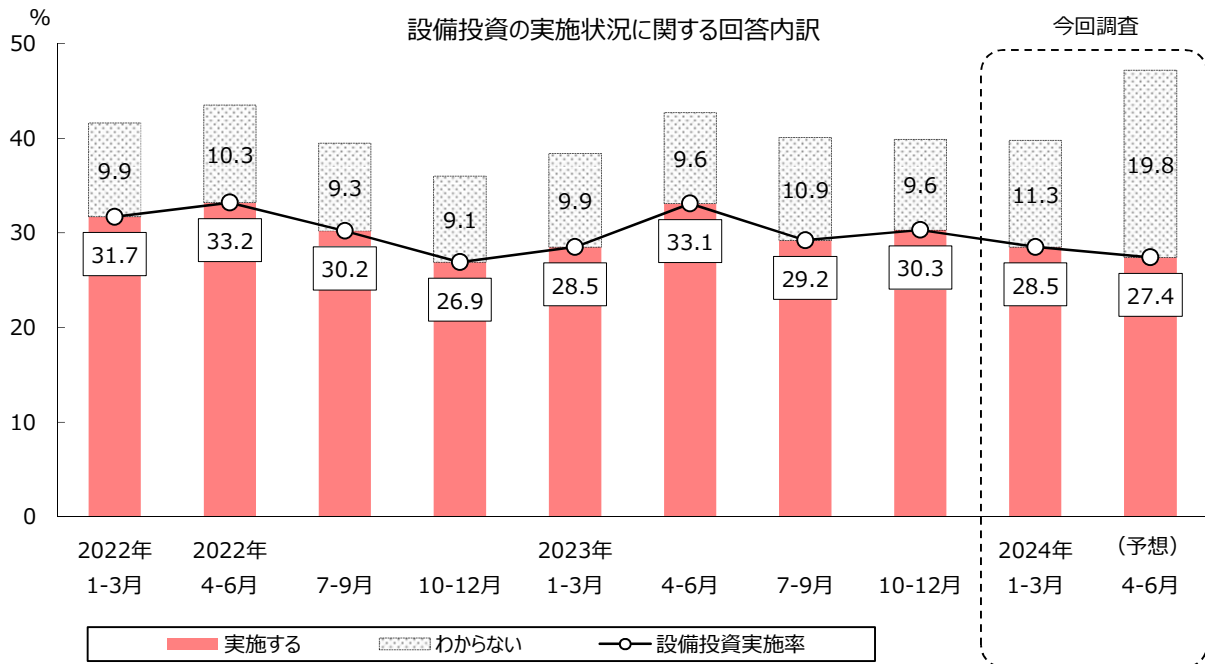
前回は6業種中5業種が上昇。BSIは依然として全業種が大幅な「不足超」で、運輸業が▲76.5と全業種中最も低水準になっている。

2024年4-6月の予想については、製造業が今回調査比-2.9ポイントの▲16.5、非製造業が同+0.3ポイントの▲42.9となる見込み。



## 4. 設備投資実施率

～製造業は高水準、非製造業は一段と落ち込む～



### (1) 全産業ベースの動向

2024年1-3月に生産・営業用設備への投資を実施するかどうかについてたずねたところ、「実施する」との回答割合(設備投資実施率)は前回比-1.8ポイントの28.5%で、2期ぶりに低下。高水準であった前々年同期(2022年1-3月、31.7%)には及ばないものの、前年同期(2023年1-3月、28.5%)と同水準で、横ばい推移となっている。

2024年4-6月の予想については、設備投資実施率は今回調査比-1.1ポイントの27.4%となる見込み。年度初めにあたり、例年設備投資実施率が上昇する時期であるため、「わからない」との回答割合が19.8%と高いことからみても、計画確定に伴ってある程度上方修正されていくものとみられる。

### (2) 業種別の動向

業種別にみると、製造業は前回比+0.4ポイントの35.6%となり、2期連続の上昇で高水準となっている。一方、非製造業は同-3.3ポイントの23.2%で、3期連続で低下した結果、コ

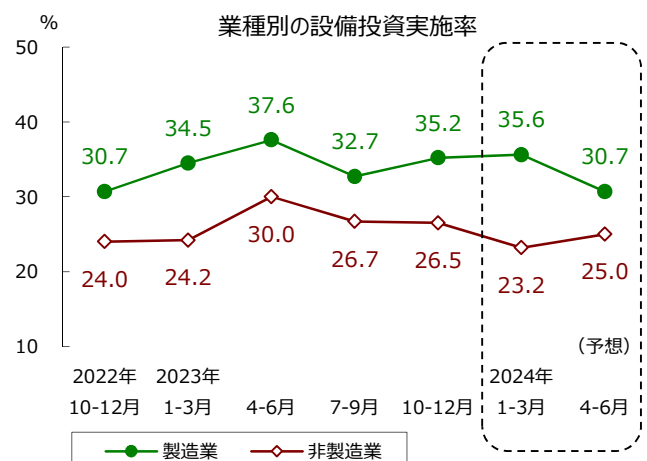
ロナ・ショックの底にあたる2020年4-6月(22.8%)以来の低水準となっている。

#### ① 製造業

木材・家具が46.2%で最も高くなっており、次いで窯業・土石が44.4%、その他製造業が42.4%の順になった。

#### ② 非製造業

運輸業が52.9%で最も高くなっており、次いで旅館・ホテル、飲食業が50.0%、サービス業・その他が28.0%の順になった。





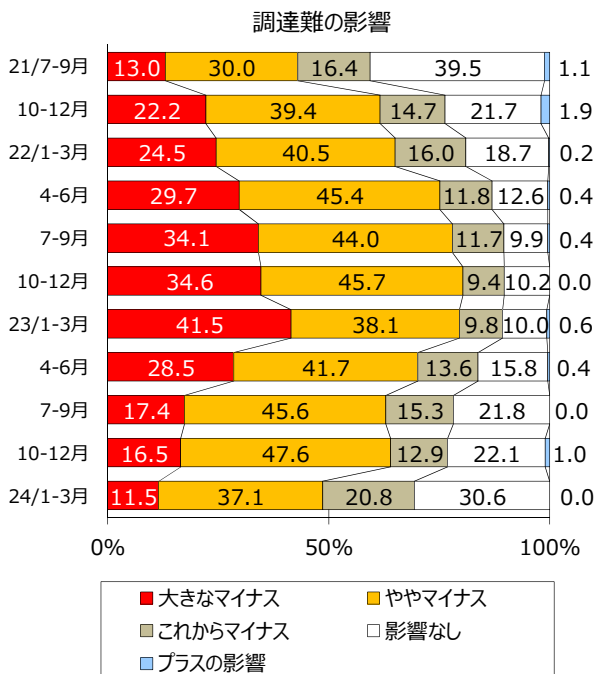
## 5. 調達難の影響

### ～調達難の影響が一巡、コスト高の価格転嫁は業種に差～

#### (1) 調達難による影響

2024年1-3月において、様々な調達難が業況に影響を与えているかどうかたずねたところ、全体では「大きなマイナスの影響がある」が11.5%、「ややマイナスの影響がある」が37.1%、「あまり影響はないが、これからマイナスの影響が出る可能性がある」が20.8%、「あまり影響はない」が30.6%となった。

マイナスの影響があるとする割合(「大きなマイナス」+「ややマイナス」)は48.6%で、調査を開始した2021年7-9月以来、2年半ぶりに半数を割り込んだ。半導体不足に代表される、コロナ禍に端を発する供給制約は解消に向かっているとみられる。ただし、今回調査では、「これからマイナスの影響が出る可能性がある」の割合上昇が目立っており、電線ケーブル、酒瓶といった新たな調達難に対する懸念が強まりつつあることがわかる。



#### (2) コスト上昇による影響

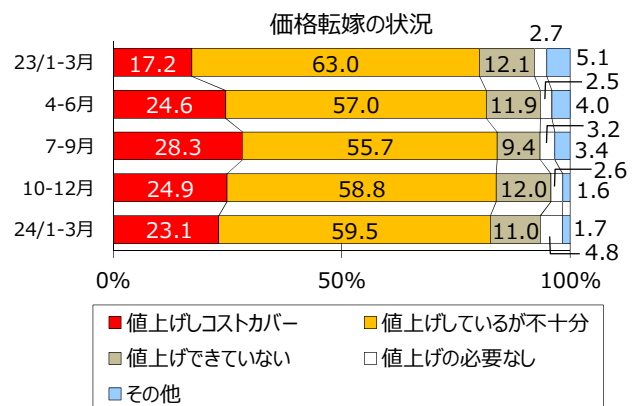
2024年1-3月において、各種コスト上昇が業況に影響を与えているかどうかきいたところ、「大きなマイナスの影響がある」が26.4%、「ややマイナスの影響がある」が50.3%、「あ

まり影響はないが、これからマイナスの影響が出る可能性がある」が12.1%、「あまり影響はない」が11.2%となった。調達難の解消が進む一方で、約8割の企業がコスト上昇による業況下押しを受けていると回答している。

詳細業種別にみると、「大きなマイナスの影響がある」との回答割合は、製造業では輸送機械が66.7%、繊維・衣服が46.7%、非製造業では、旅館・ホテル、飲食業が57.1%、運輸業が41.2%と高くなっている。

#### (3) 価格転嫁の状況

2024年1-3月におけるコスト上昇分の取扱製品・サービスへの価格転嫁の状況についてきいたところ、「値上げをしており、コスト上昇分をおおむねカバーできている」が23.1%、「値上げをしているが、コスト上昇分をカバーするには不十分である」が59.5%、「値上げをしたいが、全くできていない」が11.0%、「コスト上昇は軽微であり、値上げを行う必要はない」が4.8%の順になった。詳細業種別にみると、「値上げをしたいが、全くできていない」の割合は、製造業では輸送機械が25.0%、電気機械が24.1%、非製造業ではサービス業・その他が22.0%と高い割合となっており、これらの業種において特に価格転嫁に難を抱えている状況がうかがえる。



以上

## 参考：業種別総括表

2024年1-3月

業種	時期 集計社数	業況判断 BSI		売上高 BSI		雇用判断 BSI		設備投資 実施率 (%)	
		前回比		前回比		前回比		前回比	
全産業	486	▲ 8.6	-10.2	▲ 7.6	-11.8	▲ 30.6	+7.5	28.5	-1.8
		▲ 1.4	+7.2	1.1	+8.7	▲ 31.7	-1.1	27.4	-1.1
製造業	206	▲ 11.3	-9.9	▲ 5.3	-5.7	▲ 13.6	+6.2	35.6	+0.4
		4.9	+16.2	9.3	+14.6	▲ 16.5	-2.9	30.7	-4.9
食料品・飲料	36	0.0	-10.0	25.0	-2.5	▲ 13.9	+11.1	27.8	-9.7
		11.4	+11.4	36.1	+11.1	▲ 11.1	+2.8	38.9	+11.1
繊維・衣服	15	46.7	+13.3	53.3	+6.7	▲ 33.3	+13.4	33.3	±0.0
		35.8	-10.9	26.7	-26.6	▲ 33.3	±0.0	35.7	+2.4
木材・家具	14	▲ 46.1	-99.5	▲ 42.8	-69.4	▲ 14.3	+5.7	46.2	+24.8
		14.3	+60.4	14.3	+57.1	▲ 14.3	±0.0	21.4	-24.8
窯業・土石	9	0.0	-30.0	▲ 22.2	-32.2	▲ 22.2	-2.2	44.4	+4.4
		▲ 22.2	-22.2	▲ 22.2	±0.0	0.0	+22.2	11.1	-33.3
鉄鋼・金属	23	▲ 26.1	+16.8	▲ 26.1	+2.5	▲ 26.1	+16.8	39.1	-8.5
		▲ 8.7	+17.4	▲ 8.7	+17.4	▲ 43.5	-17.4	30.4	-8.7
電気機械	29	▲ 20.7	±0.0	▲ 17.3	+3.4	6.9	+3.5	34.5	-3.4
		▲ 31.1	-10.4	▲ 24.1	-6.8	6.9	±0.0	24.1	-10.4
一般機械	35	▲ 25.7	+12.4	▲ 22.8	+15.3	▲ 14.3	+9.5	28.6	+9.6
		17.2	+42.9	17.1	+39.9	▲ 25.7	-11.4	34.3	+5.7
輸送機械	12	▲ 25.0	-43.2	▲ 8.3	-8.3	▲ 16.7	+1.5	41.7	-3.8
		16.7	+41.7	8.3	+16.6	▲ 25.0	-8.3	41.7	±0.0
その他製造業	33	0.0	-17.7	0.0	-17.6	▲ 9.1	-6.2	42.4	-1.7
		12.5	+12.5	12.5	+12.5	▲ 9.1	±0.0	27.3	-15.1
非製造業	280	▲ 6.8	-10.7	▲ 9.3	-16.3	▲ 43.2	+8.9	23.2	-3.3
		▲ 6.2	+0.6	▲ 5.0	+4.3	▲ 42.9	+0.3	25.0	+1.8
建設業・ 不動産業	81	▲ 22.2	-24.5	▲ 25.9	-25.9	▲ 48.1	+14.7	16.0	-3.8
		▲ 10.0	+12.2	▲ 11.1	+14.8	▲ 48.1	±0.0	18.5	+2.5
運輸業	17	0.0	-35.3	11.8	-17.6	▲ 76.5	+5.9	52.9	-5.9
		35.3	+35.3	29.4	+17.6	▲ 76.5	±0.0	47.1	-5.8
卸売業	64	▲ 12.5	-8.0	▲ 9.4	-10.9	▲ 29.7	+1.6	15.6	-0.8
		▲ 19.0	-6.5	▲ 15.9	-6.5	▲ 32.8	-3.1	14.1	-1.5
小売業	54	3.7	-6.7	▲ 13.0	-31.7	▲ 42.6	-3.0	22.2	-2.8
		▲ 1.9	-5.6	▲ 7.4	+5.6	▲ 42.6	±0.0	25.9	+3.7
旅館・ホテル, 飲食業	14	57.2	+32.2	57.2	+19.7	▲ 64.3	+17.0	50.0	+6.2
		35.7	-21.5	35.7	-21.5	▲ 64.3	±0.0	42.9	-7.1
サービス業 ・その他	50	▲ 6.0	+0.1	▲ 4.0	-2.0	▲ 36.0	+18.2	28.0	-8.7
		▲ 14.3	-8.3	▲ 2.0	+2.0	▲ 30.0	+6.0	36.0	+8.0

上段…2024年1-3月、下段…2024年4-6月予想